



山梨県

ISSN 1341-8394

平成 27 年 度

森林総合研究所事業報告

2017年2月

山梨県森林総合研究所

目 次

I 試験研究事業

カラマツコンテナ苗の生産手法の確立	2
希少植物等の遺伝資源の増殖・保存技術の確立	4
育林省力化のための低コスト下刈り方法の開発	6
施業林の追跡調査と広葉樹の種特性解明に基づく広葉樹林施業技術指針の作成	8
ニホンジカの新しい捕獲技術の適用性試験と改良	12
ニホンジカに関するモニタリングの効率化・高精度化に関する研究	14
ニホンジカ影響下における針葉樹人工林の針広混交林への転換技術の開発	16
持続的な生態的森林管理における希少種管理支援ツールの開発	18
レンゲツツジなどにより構成される半自然草原群落の保全管理手法の検討	20
—甘利山における事例研究—	
森林公園や別荘地における保健休養機能の向上に資する森林整備に関する研究	22
山梨県産スギ材から製造した CLT ラミナの材質特性の解明	24
山梨県産スギ平角材の強度性能評価	26
木質燃料の品質等に関する課題の解決	28
現場ニーズに対応した新たな森林 GIS 基盤データ・主題図の作成手法開発	30
県産スギ厚板を利用した実用性に優れた矧ぎ合せ材料の製造	32
放置竹林を利用したニホンジカ・イノシシの誘導・捕獲に関する研究	34
甘草の栽培方法に関する研究	36

II 受託等調査研究事業

松くい虫発生予察事業	40
高標高地域における松くい虫被害の予防、駆除を効果的にするための基礎データの収集	42
トウヒツツリハマキ発生予察	44
カシノナガキクイムシ生息状況モニタリング	46
県有林モニタリング調査	48
森林環境税モニタリング調査	50
富士スバルライン沿線緑化試験 昭和43年度～	52
害虫ヤノナミガタチビタムシの環境を利用した被害軽減	54
日本各地でのシカによる植生への影響度を決定する要因の解明	56
ユビキタス技術・ビッグデータを用いた林業労働の安全化・効率化に関する基礎的研究	58
新しいバイオマーカーを利用した山梨県の有用植物等資源の探索と活用	60
「高山に登るニホンジカ」にどのように対処するか	62

Ⅲ 種苗林木育事業等

苗木養成	66
次世代検定林、採種園、クローン集植所の管理	66
種子採取	67
種子の発芽検定	67
富士吉田試験園の概要	69

Ⅳ 八ヶ岳薬用植物園

平成27年度「山の幸教室」開催実績	74
八ヶ岳薬用植物園利用状況	75

Ⅴ 森の教室

森の教室開催事業	78
利用状況	79

Ⅵ 研修事業

基礎研修「新規参入支援研修」	82
専門研修	82
技能者養成研修	84
教員指導者養成研修	84

(県緑化推進機構：「教職員森林・林業研修事業」「教職員木工作研修事業」)

Ⅶ 普及指導事業

研究業績の発表	86
特許・実用新案・意匠登録等	88
林業相談・現地指導・講師派遣	88
視察見学・広報活動・研修受入	97

Ⅷ 総務

組織・職員（平成27年4月1日）	100
位置	102
予算（平成27年度決算額）	103
土地・建物	104